

「中央新幹線南アルプストンネル新設（長野工区）工事（南アルプストンネル（長野）・小渋川橋りょう・小渋川変電所敷地造成）」に係る報告書に対する助言をJR東海に通知しました

リニア中央新幹線に係る報告書に対する県の助言を、令和7年12月4日付けて東海旅客鉄道株式会社（JR東海）に通知しました。

報告書の概要

事業者	東海旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 丹羽俊介
報告書の名称	中央新幹線南アルプストンネル新設（長野工区）工事における環境保全について（南アルプストンネル（長野）・小渋川橋りょう・小渋川変電所敷地造成）
工事概要	トンネル掘削工、橋りょう工、変電所造成工等（大鹿村）

※報告書については、JR東海のホームページにおいてご覧いただけます。

<https://company.jr-central.co.jp/chuoshinkansen/efforts/nagano/plan.html>

県の助言の内容

別紙のとおり

【参 考】

○報告書とは

JR東海が、リニア中央新幹線建設工事に係る具体的な工事計画に基づき環境保全措置を具体化したもので、その概要を工事説明会で地元の皆様に対して説明したのち、関係自治体に送付、公表されます。

今回の報告書は、中央新幹線南アルプストンネル新設（長野工区）工事（南アルプストンネル（長野）・小渋川橋りょう・小渋川変電所敷地造成）における環境保全について取りまとめられたものです。

なお、今回追加された小渋川橋りょう工事を除いた環境保全の計画は、平成28年10月公表、令和7年2月に一部修正され、県の助言への対応方針が示されています。

○県の助言とは

報告書に対して、事業の実施に伴う環境への影響が最大限回避・低減されるよう、環境影響評価技術委員会、地元自治体及び住民等の意見を踏まえ、環境保全の見地から助言を行うものです。



（問合せ先）

担当 環境政策課環境審査係 塩入、中村

電話 026-235-7171（直通）

026-232-0111（代表）内線 2782

FAX 026-235-7491

e-mail kankyo@pref.nagano.lg.jp

「中央新幹線南アルプストンネル新設（長野工区）工事における環境保全について（南アルプストンネル（長野）・小渋川橋りょう・小渋川変電所敷地造成）」に対する助言

1 全般

工事の実施及び工事用車両の運行に当たっては、「中央新幹線南アルプストンネル新設（長野工区）工事における環境保全について（南アルプストンネル（長野）・小渋川橋りょう・小渋川変電所敷地造成）」（以下「環境保全計画書」という。）に記載した環境保全措置を確実に実施するとともに、必要に応じて追加の環境保全措置を検討し、地域住民の生活環境及び自然環境への影響を回避又は最大限低減するよう努めること。

2 植物

- (1) トダイアカバナ及びニセキンブチゴケの移植地については、光環境や水分条件などの環境条件が重要であることから、移植前の生育環境と移植先の環境に関する調査結果を示し、移植先の選定経緯を明確にすること。
- (2) トダイアカバナの生育状況の写真については、個体の判別が可能な時期に撮影すること。また、トダイアカバナ及びニセキンブチゴケ両種についての生育地や移植地の写真は、周囲の環境が分かるように適切な時期とスケールで撮影すること。
- (3) ニセキンブチゴケについては、光環境は明るい条件が適しているという情報もあることから、移植地の状況を継続してモニタリングし、必要に応じて適切な光環境を確保するための植生管理を行うこと。

3 景観

- (1) 橋りょうの防音防災フード、坑門部、吹付コンクリートについて、景観に配慮した色合いを検討すること。
- (2) 計画地周辺では、南アルプスの重厚な景観が形成されていることから、近隣の集落、夕立神パノラマ公園、三伏峠小屋からの景観への影響の有無について、環境保全計画書に記載すること。

4 騒音

計画地近隣には集落や宿泊施設が存在することから、橋りょう工事に伴う騒音の影響を最大限低減するよう努めること。また、騒音に関する意見や要望等が寄せられた場合には、必要な対策を検討すること。